

シラバスデータ		
科目名	弱視・斜視訓練学	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能訓練士として弱視・斜視の訓練方法および外眼筋手術の適応と術式を理解することを目的とする。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・弱視・斜視の訓練方法と原理を学ぶ。 ・外眼筋手術の適応と術式を学ぶ。
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	<ul style="list-style-type: none"> ・光学的治療法、遮閉法、大型弱視鏡による訓練法、固視異常の訓練法の理論を理解し、適応症例を判断できる。 ・外眼筋手術の術式を理解し、適応、合併症について説明できる。
授業担当者	鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正学 第3版(金原出版)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	弱視視能矯正	弱視の定義と種類(復習)
2		弱視の治療方針について
3		遮閉法の種類と意義
4		
5		
6		
7		その他の弱視視能矯正
8	斜視視能矯正	斜視の種類と斜視治療
9		内斜視の視能訓練
10		間欠性外斜視の視能訓練
11		後天眼球運動障害の視能訓練
12		光学的視能矯正
13		非観血療法のみとめ
14		外眼筋手術
15	術式と適応	
16		
17	内斜視	
18	外斜視	
19	上下斜視	
20	特殊斜視	
21		
22	麻痺性斜視	
23		
24	眼振	
25	非観血療法のみとめ	
26		
27		
28	ボツリヌス治療	ボツリヌス治療の適応と合併症
29		
30	定期試験解答解説	定期試験の解答解説

シラバスデータ		
科目名	外国語(英語)	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	病院内で使用されると思われる、外国語を学び患者とコミュニケーションをとれるようにする
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	臨床で使用する外国語をみにつける
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	基本的な単語を使用した簡単な会話を身に着ける 医療会話を学び、検査に関わる会話を覚える
授業担当者	小林昌人	
実務家教員		
使用テキスト 参考文献	English for Manners and Hospitality (鷹書房弓プレス)	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	自己紹介	英語で簡単に自己紹介できるようにする
2	相手を知る	眼科で受け付け対応ができるようにする
3	病院案内	病院内の案内ができるようにする
4	身体の部位と痛み	身体の部位の名称を覚える 身体の痛みの説明ができるようにする
5	病気と症状	病気と症状が伝えられるようにする
6	既往歴	病気の名称を覚え、既往歴を尋ねることができるようにする
7	患者への指示	診察や検査時に患者に指示をつたえることができるようにする
8	バイタルサイン	バイタルサインを測定できるようにする
9	処置	患者に処置の説明ができるようにする
10	眼科での検査	眼科で患者に検査を説明できるようにする
11	会計	医療費を説明できるようにする
12	薬について	薬について説明できるようにする
13	眼の検査	眼科検査で使われる単語を覚える
14	視力の検査	視力検査の流れが説明できるようにする
15	テストと解説	テストと解説を行う。

シラバスデータ		
科目名	臨地実習Ⅱ(学内)	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	臨地実習のルールや実習記録の書き方を確認することで有意義な臨地実習を送れるようにする。 臨地実習の振り返りを行うことで、さらなる成長に繋げる。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	・「臨地実習の手引き」読み合わせ ・実習記録の書き方 ・臨地実習振り返り
授業回数	5回	
授業形態		授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	臨地実習Ⅱ(学外)を含めて45時間1単位	臨地実習での留意点、目標を自分自身の言葉で説明できる。また、実習後には振り返りを行うことで、自分自身の課題を明確にすることができる。
授業担当者	村上 綾・鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	眼科クリニック・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	臨地実習の手引き	
評価方法	臨地実習Ⅱ(学外)指導者の評価と課題提出(模擬実習記録)の総合で評価する。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	実習前教育	「臨地実習の手引き」の読み合わせと電話の掛け方を確認する。
2		動画から実習記録の書き方と見学の視点を確認する。
3		
4		個人目標の発表
5	実習後教育	臨地実習の振り返りとお礼状の作成

シラバスデータ		
科目名	薬理学概論	
年度	2024年度	授業目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	・基本的な薬剤の作用機序と効果、および副作用を理解し、臨床に役立てる。 ・簡単な実験・体験を通じて薬理学のイメージを育み、患者さんへの対応に役立てる。
学年	2年	
コース		授業全体の内容の概要
開講時期	通年	・疾病の治療には、手術だけではなく、薬物治療、判定のための検査薬も用いられる。この講義では、視能訓練士として必要な基本的な薬剤の作用機序と効果、及び副作用を理解する
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数		・視能訓練士において業務上必要な、アトロピン、シクロペントレートなどの点眼薬の知識について確実に習得する。医薬品に添付される添付文書が理解できるようになる。 ・眼科治療薬、検査薬、機能訓練で使用される薬の薬理作用、副作用、使用禁忌について理解する
授業担当者	永野 繁光	
実務家教員	○	総合病院・調剤薬局における薬剤師としての実務経験
使用テキスト 参考文献	点眼薬クリニカルブック第2版(金原出版株式会社)	
評価方法	授業態度、出席状況及び学期末試験の成績で総合評価する。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	主な内容
1	薬理学総論	薬理学とは、歴史、ホメオスタシス、医薬品の定義、医薬品分類、医薬品法令等、主作用と副作用
2	基礎薬理学①	薬理作用・作用機序、単位、分配係数、細胞、細胞膜、脂質二重層、薬物代謝経路、血中濃度
3	基礎薬理学②	神経細胞、自律神経とは、末梢神経とは、自律神経の作用、添付文書
4	散瞳薬・縮瞳薬	点眼薬、受容体、自律神経薬物の作用機序
5	緑内障①	緑内障の定義、緑内障治療ガイドライン第5版
6	緑内障②	緑内障治療薬(PG関連薬、 β 遮断薬、 α_1 遮断薬、他)
7	白内障・黄斑変性	白内障治療薬、黄斑変性治療薬(抗VEGF薬共通)、局所麻酔薬
8	角膜保護薬	角膜保護薬、ドライアイ治療薬、温罨法(おんあんぼう)
9	抗炎症薬	炎症の定義、抗炎症薬(ステロイド薬・非ステロイド薬・酵素製剤)
10	抗アレルギー薬	免疫とは?、I型アレルギー、抗ヒスタミン H_1 受容体拮抗薬(第2世代)、免疫抑制薬
11	抗菌薬	感染の三原則、各種抗菌薬(セフェム、アミノグリコシド、マクロライド、ニューキノロン他)
12	抗真菌薬・抗ウイルス薬	眼科領域における抗真菌薬、抗ウイルス薬、クラミジア治療薬
13	消毒薬	消毒の定義、消毒の方法、各種消毒薬
14	手術補助薬・他	手術補助薬(催眠薬・鎮静薬・抗不安薬)、検査薬、Horner症候群、薬物中毒
15	定期テスト	定期テストと解答解説

※8コマ目に確認テスト(30分)、9-13コマまで小テスト(10分)を予定しています。

シラバスデータ		
科目名	全身疾病学	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能訓練士が眼科検査で関わる全身疾患を、詳しく習得する
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	眼科に関わりのある、全身疾患・症候群を理解し、眼科検査をするときに役立てるように学習する
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	1単位	眼に影響を及ぼす全身疾患、症候群を理解し、検査・治療なども理解する
授業担当者	本多 祥子	
実務家教員	○	総合病院における看護師としての実務経験
使用テキスト 参考文献	プリント配布	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	循環器疾患について	循環器系疾患(高血圧・動脈硬化)
2	糖尿病と眼疾患	糖尿病と眼疾患についての関連を学習する
3	血液疾患	血液疾患(貧血・白血病)
4	内分泌疾患	内分泌疾患(甲状腺など)
5	脳血管障害、脳出血、脳梗塞	脳血管障害、脳出血、脳梗塞について視機能の障害と関連を学習する
6	小児の発育と発達	小児の発育と発達(形態発達、運動、言語、情緒など)
7	先天異常、染色体異常、先天奇形	先天異常、染色体異常、先天奇形と眼疾患の関連について学習する
8	新生児疾患	新生児疾患(未熟児、分娩時異常、感染症など)と眼疾患の関連について学習する
9	代謝性疾患	代謝性疾患(糖尿病、肥満、小児生活習慣病など)と眼疾患と関連について学習する
10	内分泌疾患	内分泌疾患(下垂体疾患、甲状腺疾患など)と眼疾患の関連について学習する
11	感染症疾患	感染症疾患(ウイルス感染症、細菌感染症など)と眼疾患の関連について学習する
12	アレルギー疾患	アレルギー疾患(アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、薬物アレルギー)と眼疾患の関連について学習する
13	血液疾患、腫瘍疾患	血液疾患、腫瘍疾患(網膜芽細胞腫)と眼疾患の関連について学習する
14	眼疾患を伴う小児疾患と症候群1	眼疾患を伴う小児疾患と症候群について学ぶ
15	眼疾患を伴う小児疾患と症候群2	眼疾患を伴う小児疾患と症候群について学ぶ

シラバスデータ		
科目名	人間発達学	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	人間発達の正常過程を理解する
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	ヒトの誕生から死に至るまで続く発達と変化を、解剖生理的、心理的な面などから、正常過程を理解した上で、視能訓練士として、対象者の理解をできるよう学習する
授業回数	8回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	1単位	誕生から死に至るまで続く発達と変化を、理解できている
授業担当者	本多 祥子	
実務家教員	○	総合病院における看護師・精神保健福祉士としての実務経験
使用テキスト 参考文献		
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	発達段階について	発達段階の概要について理解する
2	新生児・乳幼児について	新生児・乳児期の発達について理解する
3	児童期について	児童期の発達について理解する
4	青年期について	青年期の発達について理解する
5	成人期について	成人期の発達と課題について理解する
6	中年期について	中年期の発達と課題について理解する
7	高齢期・老齢期について	高齢期・老齢期の発達と課題について理解する
8	テストと解答解説	テストと解答解説を行う

シラバスデータ		2024/4/1
科目名	神経眼科学	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	神経眼科の解剖基礎より疾患までを理解する。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	脳神経の構造と視路及び眼球運動経路の解剖・生理を理解し、視交叉より末梢の視路障害、核上性障害、視神経・外側膝状体・皮質障害に関して学習する。 対光反射の経路を理解し、主訴や検査より疾患へと繋げることができる。講義の中で、実際に瞳孔を観察し理解を深める。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	神経眼科の解剖基礎より疾患までを理解する。 対光反射の経路を理解し瞳孔における疾患を理解する。
授業担当者	星野 貴大	核上性疾患・核下性疾患を経路と共に理解する。 視神経疾患を理解する。
実務家教員	○	総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、神経眼科学を学ぶ人のために 第3版(医学書院)、標準眼科学 第14版(医学書院)	
評価方法	出席状況および筆記試験の成績で総合評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	復習	神経眼科の解剖基礎の復習を行う
2	瞳孔異常	瞳孔疾患について学ぶ
3		
4	眼球運動障害	核上性眼球運動障害の疾患について学ぶ (眼振・異常眼球運動含む)
5		
6		
7		
8		
9	核・核下性眼球運動障害の疾患について学ぶ	
10	視神経・視路	視神経・視路疾患について学ぶ
11		
12	眼瞼	眼瞼異常をきたす疾患について学ぶ
13	眼窩	眼窩に異常をきたす疾患について学ぶ
14	全身疾患と神経眼科	全身症状を伴う疾患について学ぶ
15	筆記試験と解答解説	筆記試験と解答解説を行う

シラバスデータ		2024/4/1
科目名	視覚生理学演習	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	・グループでの演習により視能検査学で学んだ検査の測定法について学ぶ。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	・視能訓練士が行う眼科一般検査を中心に知識・技術を学習し、グループでの演習により実践的な技能を身につける。 また、検査結果の適切な評価の仕方も修得する。
授業回数	30回	
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	・眼科一般検査の説明ができる。 ・眼科一般検査を実際に行うことができる。 ・結果を分析することができる。
授業担当者	☆太田 陸 星野貴大	
実務家教員	○	総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)	
評価方法	実技試験、筆記試験で評価する。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	Goldmann視野計(異常視野) 角膜内皮細胞測定 色覚検査 網膜電図 (講義)	Aグループ: Goldmann視野計、色覚検査 Bグループ: 網膜電図、角膜内皮細胞測定、視力検査
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13	Goldmann視野計(異常視野) 角膜内皮細胞測定 色覚検査 網膜電図 視力検査 (実技)	ペアでお互いの検査を行う。 ※眼科外来を想定しての実習となるため、常に言葉遣い・患者説明等しっかり行うこと。
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28	実技試験・講評	実技試験を行う。その後講評。
29	実技試験・講評	
30	筆記試験・解答解説	筆記試験と解答解説を行う。

科目名	視能検査学演習	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	グループでの演習により視能検査学で学んだ検査の測定法について学ぶ。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	・視能訓練士が行う眼科一般検査を中心に知識・技術を学習し、グループでの演習により実践的な技能を身につける。 また、検査結果の適切な評価の仕方も修得する。
授業回数	30回	
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	・眼科一般検査の説明ができる。 ・眼科一般検査を実際に行うことができる。 ・結果を分析することができる。
授業担当者	☆太田 陸 星野貴大	
実務家教員	○	総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)	
評価方法	実技試験、筆記試験で評価する。	

コマシラバス

90分/コマ	テーマ	内容
1	(講義) OCT 調節機能検査 涙液検査 眼圧検査	Aグループ:OCT Bグループ:調節機能検査、涙液検査、眼圧検査
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9	(講義) 眼底写真撮影 超音波検査	Aグループ:眼底写真撮影 Bグループ:超音波検査、視力検査
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17	(実技) 眼底写真撮影 調節機能検査 OCT 超音波検査	ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等しっかり行うこと。 29コマ目までにレポートを提出(レポートが未提出の場合、実技試験は受験不可となります。) 実技チェック ①眼圧検査、角膜内皮検査 ②OCT、眼底写真撮影
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31	実技試験	実技試験を行う。その後講評。
	筆記試験	筆記試験を行う。その後まとめ。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	視能検査学	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	・眼科医師や視能訓練士が関わる眼科一般検査を学ぶ。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	・種々の眼科一般検査の原理と目的を学習する。また、それぞれの機器の検査結果の分析、評価の方法を学ぶ。また、検査結果から眼疾病を同定できる専門的知識の理解を身につける。
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	・種々の眼科検査の原理と機能を理解する。 ・眼科の専門職としての自覚と、職業倫理を理解する。 ・検査結果を分析・評価し、眼疾病と結びつけて理解する。
授業担当者	村上 綾	
実務家教員	○	診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)・眼科検査ガイド第3版(文光堂)	
評価方法	授業態度、出席率、筆記試験による総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	外眼部検査	瞼裂幅測定・眼瞼挙筋検査・眼球突出度検査について学ぶ
2		外眼部写真撮影について学ぶ
3		外眼部検査と疾患のつながりを学ぶ
4	前眼部検査	角膜形状解析・ケラトメータ・プラチド角膜計について学ぶ
5		角膜形状解析の結果の読み取り方法について学ぶ
6		前眼部OCT・UBM・隅角検査について学ぶ
7		角膜内皮検査・角膜知覚検査・レーザーフレアメータについて学ぶ
8		細隙灯顕微鏡検査について学ぶ
9		細隙灯顕微鏡検査の観察結果について学ぶ
10		涙液検査について学ぶ
11		前眼部検査と疾患のつながりを学ぶ
12	眼圧検査	眼圧検査について学ぶ
13	眼底検査	倒像鏡・直像鏡について学ぶ
14		眼底カメラの種類と原理について学ぶ
15		眼底写真の撮影法について学ぶ
16		立体写真・自発蛍光眼底写真について学ぶ
17		眼底写真の結果の読み方について学ぶ
18		蛍光眼底造影検査について学ぶ
19		蛍光眼底造影検査の結果の読み取りについて学ぶ
20		光干渉断層計(OCT)の原理について学ぶ
21		光干渉断層計(OCT)の結果の見方について学ぶ

22		光干渉断層血管撮影(OCTA)について学ぶ
23		眼底写真と光干渉断層計(OCT)の結果から疾患を学ぶ
24	眼窩画像検査	X線・CT・MRIの撮影原理と読み取り方について学ぶ
25	眼軸長検査	超音波検査の基本原理と検査方法について学ぶ
26		Aモード・Bモードの検査結果について学ぶ
27		非接触検査について学ぶ
28	検査機器全般について	検査機器の規格・安全管理、メンテナンスについて学ぶ
29	まとめ	全体の振り返り
30	定期試験 解答解説	定期試験と解答解説

シラバスデータ		
科目名	視能訓練士の役割	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能訓練士業務を行う上での関係法規を知ること、現場で活躍できる人材を育成する。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期・後期	視能訓練士法を中心に、視能訓練士業務に必要な関係法規(角膜移植法、臓器移植法、学校保健法など)を学ぶ。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	視能訓練士として業務を行う際に必要とされる関係法規を説明できる。
授業担当者	鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、専門医のための眼科診療クオリファイ眼科診療と関係法規(中山書店)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	医療関係者の法	・視能訓練士法
2		・視能訓練士法
3		・視能訓練士法
4		・他職種(看護師・診療放射線技師等)と視能訓練士
5	医療法	・診療録の記録方法と開示請求
6	角膜移植と臓器移植法	・角膜移植の関連法 ・眼球摘出の条件と制限 ・アイバンクの役割 ・脳死と臓器移植
7	眼科と公衆衛生に関する法律	・母子保健法 ・学校保健安全法 ・感染症と予防衛生法規
8	医療保障制度	・老人保健法と高齢者医療確保法
9		・眼科領域の保険診療(検査・処方・手術)
10		・斜視弱視と児童福祉法
11		・高齢者の医療の確保に関する法律(旧 老人保健法)
12		・視覚障害者と身体障害者福祉法
13	視能訓練士の役割 (イギリス編)	【リモート授業】19:00～20:30 イギリスの視能訓練士に聞く視能訓練士の役割 ゲスト: レヴァン 奈津美 さん
14	今後の視能訓練士	・視能訓練士とタスクシフト
15	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

シラバスデータ		
科目名	視能訓練学演習2	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能矯正分野における、診断と経過観察に必要な検査を習得する。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期・後期	眼球運動検査 (HESS赤緑試験、パークス3ステップテスト、注視野など)、網膜対応検査、立体視検査を学ぶ。
授業回数	31回	
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	各検査の対象・検査手順を理解し、麻痺筋の同定ができる。 網膜対応を正しく検査し、判断できる。 立体視検査において、結果と眼位との繋がりを考え、考察できる。
授業担当者	鈴木 ほまれ 佐野 智久 村上 綾	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正学 第3版(金原出版)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)	
評価方法	定期試験(筆記試験・実技試験)で評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1・2	注視野 HESS赤緑試験 (講義・練習)	Aグループ:注視野
3・4		Bグループ:HESS赤緑試験
5・6		ペアで互いの検査を行う。
7・8	パークス3ステップテスト 網膜対応検査 (講義・練習)	Aグループ:パークス3ステップテスト
9・10		Bグループ:網膜対応検査
11・12		ペアで互いの検査を行う。
13・14		
15・16		
17・18		
19・20	立体視検査 (講義・練習)	立体視検査
21・22		ペアで互いの検査を行う。 29コマ目の開始時にレポートを提出(レポートが未提出の場合は実技試験は受験不可となります。)
23・24		
25・26		
27・28		
29・30	実技試験	実技試験にて実技の確認、講評
31	定期試験/解答解説	筆記試験にて知識の確認/解答解説

シラバスデータ			
科目名	視能訓練学演習1		
年度	2024年度	授業の目的・ねらい	
学科	視能訓練士学科	視能矯正分野における、診断と経過観察に必要な検査を習得する。	
学年	2学年		
コース	—	授業全体の内容の概要	
開講時期	前期	大型弱視鏡・プリズムによる9方向眼位検査、 眼球運動検査、融像検査、4プリズム基底外方試験、マドックスを用いた検査の正常と異常を学ぶ。	
授業回数	30回		
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)	
取得単位数	4単位	各検査の対象・検査手順を理解し、正常と異常を判断できる。	
授業担当者	鈴木 ほまれ 佐野 智久		
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験	
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正学 第3版(金原出版)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)		
評価方法	定期試験(筆記試験・実技試験)で評価する		
コマシラバス			
90分/コマ	テーマ	内容	
1	復習	Aグループ: 大型弱視鏡(復習)	
2		Bグループ: 遮閉試験(復習)	
3	9方向眼位検査 (講義・練習)	Aグループ: 大型弱視鏡(9方向眼位) Bグループ: 遮閉試験(9方向眼位)	
4			
5			
6			
7			ペアで互いの検査を行う。
8			※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等をしっかり行うこと。
9	融像、抑制検査 眼球運動検査 (講義・練習)	Aグループ: 融像幅の測定(プリズム)、4プリズム基底外方試験 Bグループ: 9方向眼位写真、診断的むき眼位	
10			
11			
12			
13			
14			ペアで互いの検査を行う。
15	※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等をしっかり行うこと。		
16	AC/A比の測定 マドックス検査 ガンマ角検査 (講義・練習)	Aグループ: AC/A比 Bグループ: ガンマ角(マドックス正切尺、大型弱視鏡)、マドックス検査(Double maddox test など)	
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			ペアで互いの検査を行う。
25			※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等をしっかり行うこと。
26			29コマ目の開始時にレポートを提出(レポートが未提出の場合は実技試験は受験不可となります。)
27			※23～28コマで1人15分を目安に実技チェックを行います。
28			
29	実技試験	実技試験にて実技の確認、講評	
30			
31	定期試験	筆記試験にて知識の確認	

シラバスデータ		
科目名	視能矯正学1	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	感覚系検査の種類、原理、評価を理解し、実際の検査に繋げる。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	網膜対応検査を両眼中心窩、中心窩と道ずれ領の関係性を評価する方法に分類して学ぶ。 立体視検査を両眼分離方法から、その種類、特徴、検査方法、評価方法を学ぶ。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	網膜正常対応と網膜異常対応を理解し、検査、評価できる。 立体視検査の原理と評価方法を学び、患者に合わせた検査を選択できる。
授業担当者	鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正学 改訂第3版(金原出版)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、 視能矯正マニュアル 改訂版(メディカル葵出版)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	復習	パナムの融像感覚圏 正常両眼視の成立条件
2	網膜対応検査	網膜対応の種類と定義 正常網膜対応と網膜対応異常を理解する。
3		網膜対応検査の種類と評価 ・バゴリニ線状レンズ試験
4		網膜対応検査の種類と評価 ・バゴリニ線状レンズ試験
5		網膜対応検査の種類と評価 ・赤ガラス試験 ・ワース4灯試験
6		網膜対応検査の種類と評価 ・陰性残像試験 ・陽性残像試験
7		網膜対応検査の種類と評価 ・残像ひきとり試験 ・両眼ビズスコープ試験
8		網膜対応検査の種類と評価 ・位相差ハプロスコープ試験 ・ポラテスト ・プリズム順応試験
9		網膜対応検査の種類と評価 ・大型弱視鏡
10		立体視検査
11	立体視検査の種類と評価 ・実在立体視	
12	立体視検査の種類と評価 ・半円柱回折格子、セクター、鏡筒を用いた検査	
13	立体視検査の種類と評価 ・偏光眼鏡を用いた検査	
14	立体視検査の種類と評価 ・赤緑眼鏡を用いた検査	
15	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	視覚生理学2	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	眼の光学系、視覚伝導系、運動系からなる視覚系および電気生理について学び、視能訓練士として必要な知識を身につける。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	視覚は、眼の光学系・視覚伝達系及び目の運動系(眼球運動・瞳孔運動・調節・開閉運動)からなり、脳で統合される情報処理機構であることを統合的に理解し、視覚経路の生理・解剖、視覚生理学の基礎を学習する。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	・視力と網膜の関係について説明できる ・色の知覚、異常について説明できる ・視路と視野の関係を説明できる
授業担当者	☆星野 貴大	・視野、視野異常について説明できる ・明順応、暗順応について説明できる
実務家教員	○	総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学第3版(文光堂)、視能学エキスパート視能検査学	
評価方法	各単元試験や期末試験にて評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	視覚生理1の復習	1年次の視覚生理の復習
2		
3	視野	視野異常の仕組みについて学ぶ。
4		視野異常を呈する疾患について学ぶ。
5		視野異常を呈する疾患について学ぶ。
6		眼底と視野の関係について学ぶ。
7		異常視野の検査方法について学ぶ。
8	視力・形態覚	視力低下・視野異常を起こす疾患と検査法について学ぶ。
9	色覚・光覚	色覚の検査法を学ぶ。
10	眼科における 電気生理検査	電気生理の基礎知識について学ぶ。
11		電気生理検査法(ERG)について学ぶ。
12		電気生理検査法(VEP・EOG)について学ぶ。
13		電気生理検査法(ENG・EMG)について学ぶ。
14	総復習	本講義のまとめを行う。
15	筆記試験と解答解説	筆記試験での知識の確認と解答・解説を行う。

シラバスデータ		2024/4/1
科目名	基礎視能矯正学演習2	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	<ul style="list-style-type: none"> ・調節力について理解し、近見視力を測定することができる。 ・屈折矯正法について学ぶ。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・近見視力を測定測定し、近用眼鏡度数を求める。 ・コンタクトレンズの度数換算し、処方度数の決定を行う。
授業回数	15回	
授業形態	演習	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	<ul style="list-style-type: none"> ・調節力について理解し、近見視力を測定することができる。 ・眼鏡処方、コンタクトレンズ処方で適切な度数を求めることができる。 ・眼鏡からコンタクトレンズへの度数変換を行うことができる。
授業担当者	☆太田 陸 佐野 智久	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学第3版(文光堂) 屈折異常とその矯正 改訂第7版(金原出版)	
評価方法	筆記試験による総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	近見視力検査	<ul style="list-style-type: none"> ・近見視力の測定、記載法について学ぶ ・老視について学ぶ
2		
3	近用眼鏡 (処方)	<ul style="list-style-type: none"> ・近用眼鏡の処方について学ぶ
4		
5	コンタクトレンズ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンタクトレンズの度数換算について学ぶ ・コンタクトレンズのフィッティングについて学ぶ ・コンタクトレンズの着脱を行う ・コンタクトレンズの処方度数を求める
6		
7		
8		
9	遠近両用眼鏡 (処方)	<ul style="list-style-type: none"> ・遠近両用眼鏡の処方について学ぶ
10		
11	眼鏡処方 コンタクトレンズ処方 (実技)	<p>ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等しっかり行うこと。</p> <p>15コマ目までにレポートを提出(レポートが未提出の場合、筆記試験は受験不可となります。)</p>
12		
13		
14		
15	筆記試験	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験とそのまとめを行う。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	基礎視能矯正学4	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	検査データをもとにどのような疾患か検討し、臨地実習などで、いろいろなデータを見て症例を予測できるようにする
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	検査データをもとに症例を検討していく
授業回数	30回	
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	検査データから症例を把握することができる
授業担当者	佐野智久	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第2版(文光堂)	
評価方法	授業態度、出席率、課題提出、筆記試験による総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1,2	視能矯正について	前期で学んだ基礎視能矯正の復習
3,4	症例検討	小児の視能評価について
5,6		不同視弱視についての症例検討
7,8		形態覚遮断弱視についての症例検討
9,10		屈折性調節性内斜視についての症例検討
11,12		非屈折性調節性内斜視についての症例検討
13,14		間欠性外斜視についての症例検討
15,16		間欠性外斜視についての症例検討
17,18		先天上斜筋麻痺についての症例検討
19,20		動眼神経麻痺についての症例検討
21,22		動眼神経麻痺についての症例検討
23,24		外転神経麻痺についての症例検討
25,26		滑車神経麻痺についての症例検討
27,28		滑車神経麻痺についての症例検討
29		まとめ
30	定期試験と解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

シラバスデータ		
科目名	基礎視能矯正学3(眼鏡)	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能矯正に必要な眼鏡処方に関する知識を学ぶ。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	眼鏡処方(成人・学齢期・乳児)、眼鏡処方(二重焦点・累進)、プリズム処方
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	症例に合わせた眼鏡処方ができる。 眼位・視力の発達を考慮した処方ができる。
授業担当者	鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	すぐに役立つ臨床で学ぶ 眼鏡処方の実際(金原出版)、視能学 第3版(文光堂)、眼鏡・コンタクトレンズ処方ハンドブック(三輪書店)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	復習	屈折と調節(復習)
2	眼鏡処方 (単焦点)	・眼鏡処方(単焦点)のレンズ選択
3		・コンタクト度数
4		・レンズの縮小と拡大 ・不等像視が及ぼす影響
5		・輻湊角 ・心とり点間距離
6		・プリズム効果
7		眼鏡処方 (二重焦点・累進)
8	・累進屈折眼鏡と二重焦点眼鏡の処方	
9	眼鏡処方 (学齢期・乳児)	・学齢期と乳児の眼鏡処方
10	眼鏡処方(プリズム)	・プリズム処方(膜プリズムの貼り方とプリズム合成)
11		・プリズム処方(膜プリズムの貼り方とプリズム合成)
12		・プリズムによる網膜像の変化
13	眼鏡処方の実際	・眼疾患と屈折
14		・Knappの法則 ・見かけの調節力 ・Abbe数
15	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

シラバスデータ		2024/4/1
科目名	基礎視能矯正学3(症例検討)	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	検査データをもとにどのような疾患か検討し、臨地実習などで、いろいろなデータを見て症例を予測できるようにする
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	検査データをもとに症例を検討していく
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	検査データから症例を把握することができる
授業担当者	太田 陸	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、屈折異常とその矯正 改訂第7版(金原出版)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	授業のながれ	症例検討について説明、ながれ
2	症例検討1	呈示された結果から疾患を考え、必要な検査や治療法について考える。 結果をグループで共有し、症例検討を行い、まとめる。
3		
4	症例発表1	・症例発表を行い、他グループと症例を共有する。 ・必要な検査や治療法、予後について再度検討する。
5	症例検討2	呈示された結果から疾患を考え、必要な検査や治療法について考える。 結果をグループで共有し、症例検討を行い、まとめる。
6		
7	症例発表2	・症例発表を行い、他グループと症例を共有する。 ・必要な検査や治療法、予後について再度検討する。
8	症例検討3	呈示された結果から疾患を考え、必要な検査や治療法について考える。 結果をグループで共有し、症例検討を行い、まとめる。
9		
10	症例発表3	・症例発表を行い、他グループと症例を共有する。 ・必要な検査や治療法、予後について再度検討する。
11	症例検討4	呈示された結果から疾患を考え、必要な検査や治療法について考える。 結果をグループで共有し、症例検討を行い、まとめる。
12		
13	症例発表4	・症例発表を行い、他グループと症例を共有する。 ・必要な検査や治療法、予後について再度検討する。
14	まとめ	・主訴から考えられる疾患や必要な検査に加えて、考えられる検査結果や治療法についてまとめを行う。
15	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

シラバスデータ		
科目名	眼疾病学各論1	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	・眼科における眼疾患と全身病に伴う眼症状について学習する。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	・眼科的疾患及び眼科関連全身疾患について解剖学的部位に系統立てて学習し、視能訓練士の業務を理論的に理解できるようにする。
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	・眼疾患における原因、症状、所見、必要な検査と結果、治療を総合的な知識として習得する。
授業担当者	中嶋 茂雄	
実務家教員	○	診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第2版(文光堂)・標準眼科学 第14版(医学書院)	
評価方法	筆記試験	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1.2	眼瞼	眼瞼下垂、眼瞼内反、兔眼、麦粒腫、霰粒腫、睫毛乱生
3.4	涙器	鼻涙管閉塞、涙囊炎、涙腺炎、涙液分泌減少症、眼乾燥症
5.6	結膜	結膜炎、翼状片
7.8	角膜・強膜	角膜炎、角膜症、角膜感染症、角膜ジストロフィ、円錐角膜、角膜白斑、老人環、強膜炎
9.1	水晶体	白内障、水晶体位置異常
11.12	緑内障	原発開放隅角緑内障・正常眼圧緑内障、原発閉塞隅角緑内障、急性緑内障発作、発達緑内障
13.14	ぶどう膜①	ぶどう膜炎、虹彩毛様体炎、ペーチェット病
15.16	ぶどう膜②	原田病、交感性、眼炎、ぶどう膜の先天異常
17.18	網膜の総論	網膜の解剖、検査、異常所見、治療
19.20	網膜の各論 I	網膜の変性、黄斑疾患
21.22	網膜の各論 II	RD、小児眼底疾患
23.24	眼窩疾患	眼窩の解剖・検査・異常所見・治療
25.26	眼外傷と眼科救急、プライマリケア	異物・裂傷・外傷や救急疾患
27.28	全身病と目	全身病とそれに伴う眼疾患
29.30	テストと解答解説	テストと解答解説を行う。

シラバスデータ		
科目名	ロービジョン学	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	障害受容の心理や地域社会におけるリハビリテーション職種としての役割について理解する。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション職種である視能訓練士が担う保健医療福祉の推進について学ぶ。 ・視能訓練士が知っておくべき障害受容の心理や地域社会におけるリハビリテーション職種としての役割について理解する。 ・ロービジョンケアの具体的な手法について学ぶ。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害の定義と範囲について説明できる。 ・ロービジョンケアにおける視能訓練士の役割を理解できる。 ・視覚補助具の使い方を説明できる。 ・拡大鏡の選定の方法や計算が出来る。
授業担当者	太田 陸	
実務家教員	○	診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学第3版(文光堂)、ポイントマスター！ロービジョンケア外来ノート(三輪書店)	
評価方法	筆記試験で評価する。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	ロービジョンの定義Ⅰ	ロービジョンの定義について学ぶ。
2	ロービジョンの定義Ⅱ	障害程度等級について学ぶ。
3	ロービジョンの推移	ロービジョン者の推移や原因疾患について学ぶ。
4	ロービジョンの実際Ⅰ	ロービジョンケアに必要な視能訓練士の基礎知識を学ぶ。
5	ロービジョンの実際Ⅱ	ロービジョン者の視機能評価について学ぶ。
6	視覚補助具Ⅰ	視覚補助具・日常生活用具について学ぶ。
7	視覚補助具Ⅱ	視覚補助具の選定について学ぶ。
8	拡大鏡Ⅰ	拡大鏡の種類、使用方法について学ぶ。
9	拡大鏡Ⅱ	拡大鏡の倍率について学ぶ。
10	遮光眼鏡	遮光眼鏡について学ぶ。
11	単眼鏡・拡大読書器	遮光眼鏡について学ぶ。
12	ロービジョン者の誘導	ロービジョン者の誘導について学ぶ。
13	ロービジョンケアⅠ	視覚支援施設の役割について学ぶ。
14	ロービジョンケアⅡ	視能訓練士ができる視覚支援について学ぶ。
15	筆記試験・解答解説	筆記試験と解答解説を行う。

シラバスデータ			
科目名	ゼミナール2		
年度	2024年度	授業の目的・ねらい	
学科	視能訓練士学科	科目分類を行うことで国家試験勉強の土台を築く。 学生調書を作成することで臨地実習に備える。	
学年	2学年		
コース	—	授業全体の内容の概要	
開講時期	前期・後期	国家試験過去問題の科目分類、学生調書の作成	
授業回数	30回		
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)	
取得単位数	4単位	科目分類を行うことで、科目を意識して学習し、系統的に学ぶことができるようになる。 学生調書の作成することで、臨地実習での各自の到達目標を明確にし、自分の言葉で説明できるようになる。	
授業担当者	村上 綾・鈴木 ほまれ		
実務家教員	○	眼科クリニック・総合病院における視能訓練士としての実務経験	
使用テキスト 参考文献	視能訓練士 国家試験過去問題、視能学第3版、臨地実習の手引き		
評価方法	学生調書の作成と中間試験にて評価する。		
コマシラバス			
90分/コマ	テーマ	内容	
1・2・3	国家試験対策	模擬試験	
4		出題傾向の分析について	
5		国家試験過去問題の分類と分野別問題集の作成	
6			
7			
8			
9			
10			
11		解答解説の効果的な方法と勉強方法について(復習)	
12		臨地実習準備	臨地実習先の概要を調べて、自分の到達目標を考える
13			学生調書の作成
14			
15			
16			
17	フローチャートの作成(学内で学んだ検査手技を確認)		
18	中間試験と解説	ケーススタディ(想定される問題をまとめる)	
19		臨地実習に関するルールを確認する	
20	実習後報告	臨地実習で得た知識・技術の共有と各自の成長を知る	
21	就職支援	求人票の見方、就職活動の流れについて 就職試験に必要な知識(SPI、一般常識試験)について	
22			
23		模擬就職活動と優先順位について	
24			
25			
26	就職支援	求人票の見方、就職活動の流れについて 就職試験に必要な知識(SPI、一般常識試験)について	
27			
28			
29			
30	模擬就職活動と優先順位について		

シラバスデータ		2024/4/1
科目名	就職指導	
年度	令和6年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	① 自分自身を客観的に知り、表現する方法を見つける。 ② 就職に必要な知識を養う。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	・就職活動は自分の仕事を中心とした人生(将来)を考え、設計する為の重要な役割を果たし、自己実現に向けた第一歩であることを理解させる。 ・自己を知り、敵(企業などの就職先)を知って、いかに自分を高く売り込めるかを学ばせる。 ・「講義」は与えられたものとして受け止めるのではなく、自分自身のものとして理解し実施していこうとする学習姿勢を重要視する。
授業回数	15回	
授業形態	講義	
取得単位数	2単位	授業修了時の達成課題(到達目標)
授業担当者	原木伴美	本授業では、「就職」というゴールに加え、学生が「キャリア自律」について理解することを目標とする。
実務家教員	×	
使用テキスト 参考文献	自作プリント参考文献(社会人基礎力が身につくキャリアデザインブック(自己理解編・社会理解編)、イラスト図解！就職ワークブック、就職成功へのステップ)	
評価方法	授業態度、出席率、課題提出による総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	オリエンテーション	働くことについて理解しよう～自分にとって働くとは？～
2	自己理解を深めよう①	キャリアアンカー理論、エゴグラム、BigFive尺度を使って自分の性格について把握しよう。
3	自己理解を深めよう②	自分の性格や価値観についてじっくり考えて洗い出して考えてみよう。
4	自分と仕事について考えよう	ワークシートを使って、自分と仕事について考えてみよう。
5	他者から見た自分を知らう	グループワーク「ジョハリの窓」を実施して、自己理解を深めよう。
6	仕事について理解しよう①	職業の種類と仕事の内容を知り、自分の成りたい職業との関係を知ろう。
7	仕事について理解しよう②	自分の目指す職業と業界について知り、仕事と職場への理解を深めよう。
8	グループワーク	社会人基礎力について理解し、身に付けるためのグループワークを実施しよう。～論理パズルをしよう～
9	自己表現に向けて①	就活面接の「三大質問」について理解し、対策しよう。
10	自己表現に向けて②	文章の書き方の基本を学ぼう
11	自己表現に向けて③	履歴書の書き方を学ぼう
12	グループワーク	社会人基礎力を身に付けるためのグループワークを実施しよう。～戦国村を探れ！～
13	話し方の基本①	伝え方と話し方 練習編
14	話し方の基本②	伝え方と話し方 実践編
15	まとめ	社会に出るために必要なことを学ぼう 社会人基礎力を身に付ける②コンセンサス実習～雪山遭難ゲーム～